

平成30年度特別支援教育就学奨励費のあらまし

7 領収証書等の確認について

支給する各経費のうち、各家庭で購入された経費については、領収証書（レシート）等金額及び購入内容を確認できる書類が必要ですので、各学校担当者まで提出してください。

また、領収証書やレシート等の提出がない場合は支給できないことがありますので、学校担当者へ提出するまで大切に保管しておいてください。

なお、学校徴収金により学校で一括購入したものなどの証明については、各学校で行います。

8 公共交通機関等による通学費の確認について

支給する通学費については、事前に学校へ届けられた経路を基に算出しますが、大阪府では、4月から6月までの3ヵ月分、7月の1ヵ月分、9月から翌年2月までの6ヵ月分、3月の1ヵ月分の定期券で購入し、8月の登校日等は切符又は回数券を利用することを基本として支給します。

ただし、通学される幼児・児童・生徒の障がいの状況や、考慮すべき事情により、これ以外の購入形態となる場合については、事前に各学校担当者にご相談ください。なお、休業期間中のクラブ活動や資格取得に向けた講座など任意の活動への参加にかかる交通費は、就学奨励費の対象とはなりませんので、ご注意ください。

9 確認書類の必要なものについて(例示)

経費の種類	必要書類	経費の対象となるもの
・通学費 ・帰省費(寄宿生のみ) ・交流学习交通費 ・職場実習交通費	・経路の届出 ・定期券コピー など	・鉄道、バス、船舶、航空機等の乗車料金(タクシー不可) ・自家用車(学校長が必要と認める場合に限り) など ※ 最も経済的な通常の経路及び方法により届け出た経路分 ※ 自家用車のガソリン代は領収書不要、距離単価により算出
・学用品・通学用品 購入費	・領収証書 (レシート) など	就学のために通常要する学用品(自主学習分除く) ・ノート、筆記具 ・副読本、練習帳、辞典類、体育用ズック靴、上履き等 ・実験・実習用の材料、作業衣等 ・教育的保育用品 ・上記に関するパソコンソフト等IT関連の学用品 など [医療目的の用品は対象外です]
		学用品として使用するICT機器 ・PC、タブレット端末、アプリケーション など ※ 学校長が教育課程上必要と認め学校の授業で使用する場合のみ
		通学のために通常要する通学用品 ・通学用靴、雨傘、雨靴、帽子等 [車いす・装具等の福祉用品は対象外です]
・新入学児童生徒 学用品・通学用品 購入費	・領収証書 (レシート) など	・新入学にあたって通常必要となる学用品(上記参照) ・通学用品(ランドセル、鞆、通学用服(制服・標準服)、靴、 雨靴、雨傘、帽子等) など
・寝具購入費 (寄宿生のみ)	・領収証書 (レシート) など	寄宿舎居住に伴う ・布団、毛布、枕(カバー類含む) など ※ 新たに寄宿舎に入舎するために購入する場合、又は3年以上使用したもので、使用に耐えないものと校長が認めた場合のみ
・日用品等購入費 (寄宿生のみ)	・領収証書 (レシート) など	寄宿舎居住に伴う ・洗面用雑品(タオル、歯ブラシ、石鹸等) ・衣類補修用品(糸、針、補修用布等) ・保健衛生品(ちり紙、長期滞在中の理髪代、洗濯用品等) ・下着、生活必需品 ・厚生修養費(新聞・雑誌等) ・保護者が負担することとなる入浴料 ・通信用品(封筒、便箋等) など

※ 上記のとおり家庭生活ではなく、学校の教育活動に必要なものが支給対象となります。なお、これらに類似するものは支給対象となりますが、就学に必要なものすべてが支給対象になるわけではありませんので、ご注意ください。

※ 寄宿舎居住に伴う経費については、寄宿舎と自宅の二重生活となることにより寄宿舎に滞在することで必要となる部分のみが対象となります。

1 支給の目的

「特別支援学校への就学奨励に関する法律」等に基づいて、支援学校に就学している幼児、児童又は生徒の保護者等の経済的な負担を軽減し、就学を奨励するため、その負担能力の程度に応じて就学に必要な諸経費が支給されることになっています。

2 支給する各経費一覧

学 部 経 費	支 援 学 校															備 考		
	幼 稚 部			小 学 部			中 学 部			高 等 部			備考					
	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III						
教科用図書購入費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
学校給食費	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○			
交 通 費	通 本 人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○		
	付 添 人	○	○	○	1~3年 ○	1~3年 ○	1~3年 ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	△	注(1)	
通 省 費	本 人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	年間39往復	
	付 添 人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	(肢重) ○	△	注(2)	
費	職 場 実 習 費 (交 通 費)	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○		
	交 流 及 び 共 同 学 習 費	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	○		
に 伴 っ た 経 費	寄 宿 舎 居 住 費	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	寝 具 購 入 費	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	日 用 品 等 購 入 費	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
修 学 旅 行 費	本 人	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	付 添 人	○	○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	△	注(3)
校 外 活 動 等 参 加 費	本 人	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	付 添 人	○	△	○	1~3年 ○	1~3年 ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	(肢重) ○	(肢重) ○	○	△	注(4)
	職 場 実 習 宿 泊 費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	限度額まで
学 用 品 購 入 費	学 用 品 通 学 用 品 購 入 費	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	拡 大 教 材 費	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで
	音 声 教 材 費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	限度額まで
	ICT 機 器 購 入 費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	限度額まで
	新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 通 学 用 品 購 入 費	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	限度額まで

I.....第1段階
II.....第2段階
III.....第3段階
を 表 す
○.....全額
△.....1/2の額

注(1) 通学費(付添人)の支給対象は、小3までの幼児・児童、肢体不自由又は重度・重複障がいのある小4~高等部までの児童・生徒の付添人に限る。
 (2) 帰省費(付添人)の支給対象は、中学部までの幼児・児童・生徒、肢体不自由又は重度・重複障がいのある高等部の生徒の付添人に限る。
 (3) 修学旅行費(付添人)の支給対象は、肢体不自由又は重度・重複障がいのある小・中・高等部(本科)の児童・生徒の付添人に限る。
 (4) 校外活動等参加費(付添人)の支給対象は、小3までの幼児・児童、肢体不自由又は重度・重複障がいのある小4~高等部(本科)までの児童・生徒の付添人に限る。

